



2月17日(日)に開催した「第53回青梅マラソン大会」では、国内外の招待選手や、全国から10キロの部・30キロの部合わせて16,669人のランナーが参加し、早春の青梅路を駆け抜けました。  
沿道に詰めかけた72,000人の歓声もあり、大会は盛大に行われました。

- ▶ AR動画の表示がある写真にスマートフォン・タブレット端末の画面をかざすとAR動画が再生。
- ▶ AR動画の再生についての詳細は市ホームページまたは右の二次元コードから。
- ▶ アプリは無料ですが、ダウンロードに伴う通信料などはかかります。



第54回大会は、平成32(2020)年2月16日(日)の開催を予定しています。多くの市民ランナーの参加をお待ちしています。

### ジュニアロードレース 小学生490人、中学生230人が参加



#### ジュニアロードレース結果

- ★小学生
- ▶ 4年生男子 ①原島琉天(藤橋小) 5分24秒  
②ソファー・路偉(二小) ③飯田英斗(新町小)
  - ▶ 4年生女子 ①峯田さつき(新町小) 5分46秒  
②佐野愛彩(河辺小) ③野口心優(二小)
  - ▶ 5年生男子 ①谷口悠成(新町小) 5分22秒  
②川上玲音(新町小) ③保坂彪音(二小)
  - ▶ 5年生女子 ①石川理央(新町小) 5分35秒  
②菅野舞香(新町小) ③後藤千尋(吹上小)
  - ▶ 6年生男子 ①田中日向太(霞台小) 5分19秒  
②青野 陸(河辺小) ③船木 陸(藤橋小)
  - ▶ 6年生女子 ①沖中虹架(若草小) 5分35秒  
②金子 凜(吹上小) ③増田陽菜(五小)
- ★中学生
- ▶ 男子 ①小松幹汰(西中) 9分41秒  
②横田哲太(御堂中) ③小林亮太(國學院大學久我山中)
  - ▶ 女子 ①柴田采也可(中瀬中) 11分14秒  
②大川心愛(國學院大學久我山中) ③鈴木優奈(瑞穂二中)
- ※タイムは速報値(確定したタイムではありません)

小学生の部(1.5km)には490人、中学生の部(3km)には230人が参加しました。子どもたちの元気な姿が大会を盛り上げました。



### 開会式(2月16日・総合体育館)

今大会の開会式は、三中吹奏楽部の演奏から始まり、国内外の招待選手をはじめ多くの市民ランナーが見守る中、福井良祐選手が力強く選手宣誓を行いました。

式典終了後は、ランナー応援イベントとして、チームJCDA、チームJCDA Traineeによるチアダンス、青梅総合高校による和太鼓の演奏が行われ、ランナーたちに熱いエールを送りました。

また、AOSYNスペシャルトークショーは、シドニーオリンピック女子マラソン金メダリストの高橋尚子氏と、アテネオリンピック女子マラソン金メダリストの野口みずき氏の2人の金メダリストをお迎えしました。トークを聞こうと多くのランナーや観客が集まり、会場はこの日いちばんの盛り上がりとなりました。

その後、毎年恒例となっているげんき〜ずによるお笑いミニライブを行い、最後にはビッグチャンス抽選会が行われました。



### 10キロの部 男子は下條乃將選手、女子は森田香織選手が優勝



3,491人が出場した10キロの部は、午前9時30分にスタートしました。

男子は、下條乃將選手（東京実業高校）が優勝。2位は29秒差で伊野一輝選手（拓大一高）でした。

女子は、招待選手の森田香織選手（パナソニック）が高校生を抑え優勝しました。なお、2位は大同美空選手（岩谷産業）でした。

完走者は3,363人、完走率は約96.3%でした。

#### 10キロの部結果

##### ★男子

- ▶ 高校生 ①下條乃將（東京実業高校） 30分23秒  
②伊野一輝（拓大一高） ③伊東大翔（國學院大學久我山高）
- ▶ 40歳代 ①大熊啓史（町田走友会） 32分46秒  
②和田孝司（多摩川クラブ） ③青山大志（東大和多摩湖）
- ▶ 50歳代 ①寺牛浩之（ピール部） 35分45秒  
②高水昌彦 ③石渡正和（拓練）
- ▶ 60歳代 ①吉田 正（RUNS） 36分35秒  
②橋本勝行（八王子走ろう会） ③石井英和（ゴキちゃんクラ）
- ▶ 70歳以上 ①小金啓志（神奈川M） 42分53秒  
②神保芳雄（奥むさしR・C） ③林 正敏（青梅RC）
- ▶ チーム戦（男子・混成） ①NHRC\_A 1時間53分33秒

##### ★女子

- ▶ 高校生 ①大原菜々恵（東京実業高校） 36分47秒  
②小野祥子（都立上水高校） ③鎌田小町（若葉総合高校）
  - ▶ 40歳未満 ①森田香織（パナソニック） 33分1秒  
②大同美空（岩谷産業） ③内藤早紀子（パナソニック）
  - ▶ 40歳代 ①廣瀬光子（東京WINGS） 37分51秒  
②川西美穂（内田治療院AC） ③水藤孝子（東京WINGS）
  - ▶ 50歳代 ①谷 真美（日野JAC） 40分19秒  
②滑川文子（東京WINGS） ③金船圭子
  - ▶ 60歳以上 ①弓削田真理子（おごせ石川眼科） 40分22秒  
②高木圭子（多摩湖RC） ③本多春江
  - ▶ チーム戦（女子） ①らんでぼ☆女 2時間7分22秒
- ※タイムは速報値（確定したタイムではありません）

### 30キロの部 男子はチェボティビン・エゼキエル選手、 女子は吉田香織選手が総合優勝



30キロの部は、13,178人が午前11時30分にスタートしました。

スペシャルスターターは、野口みずき氏が務め、スペシャルゲストの高橋尚子氏や沿道からの歓声とともにランナーを笑顔で送り出しました。

男子総合は、チェボティビン・エゼキエル選手（サンベルクス）が、1時間29分6秒の大会新記録で、第51回大会以来2度目の優勝を果たしました。エゼキエル選手はスタートから先頭集団で走り、中盤からは独走状態で、2位に4分24秒差をつけての圧勝でした。この記録は、第15回大会にオープン参加した瀬古利彦氏の1時間29分32秒（参考記録）を38年ぶりに塗り替えました。

女子総合は、吉田香織選手（TEAM R×L）が、前回大会のリベンジを見事に果たし、初優勝となりました。タイムは1時間44分28秒でした。

完走者は12,277人、完走率は約93.2%でした。

#### 30キロの部結果

##### ★男子

- ▶ 総合 ①チェボティビン・エゼキエル（サンベルクス） 1時間29分6秒  
②木津晶夫（カネボウ） ③坪井 慧（法政大学）
- ▶ 40歳代の部 ①中村直樹（大阪陸協） 1時間43分6秒  
②松野淳司（塩尻陸協） ③佐々木正志（すみラン）
- ▶ 50歳代の部 ①小西 亘（MKPJ T） 1時間49分32秒  
②野口繁基（府中サブスリー） ③及川 篤（葛西ランナーズ）
- ▶ 60歳以上の部 ①長谷部 隆（八王子走ろう会） 2時間6分44秒  
②竹田隆夫（城北クラブ） ③鈴木敏弘

##### ★女子

- ▶ 総合 ①吉田香織（TEAM R×L） 1時間44分28秒  
②橋本奈海（三井住友海上） ③大蔵玲乃（ホクレン）
  - ▶ 40歳代の部 ①佐々木寿子（東京WINGS） 2時間2分54秒  
②上原千貴 ③石川純子（リスタート）
  - ▶ 50歳代の部 ①新城かおり（東京陸協） 2時間6分29秒  
②宮本明子（万葉健友会） ③松谷恵美
  - ▶ 60歳以上の部 ①網代礼子 2時間24分7秒  
②鈴木美津江（日野走友会） ③嶋田芳子
- ※タイムは速報値（確定したタイムではありません）

### ご声援、ご協力に感謝申し上げます

第53回青梅マラソン大会は、全国から16,669人のランナーが参加し、終了することができました。これも市民の皆様をはじめ、ボランティアとして大会にご参加いただいた方々、関係諸機関の皆様方の絶大なご協力のたまものと感謝申し上げます。

市民の皆様には、コースを力走するランナーに温かいご声援をいただくとともに、交通規制では大変ご不便をおかけいたしました。大会にご協力いただきましたことに対しまして、心から感謝とお礼を申し上げます。

次回以降も、市民の皆様の変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。



青 梅 市  
報 知 新 聞 社  
（一社）東京陸上競技協会  
青梅市陸上競技協会  
（一財）青梅マラソン財団

ポストンから青少年ランナー2人が  
青梅路を快走

ポストン青少年交流事業として、ポストンから招待した青少年ランナーのアマンダ・ハンセンさん（写真左）、カイル・マツキャンさん（写真右）が、青梅マラソン大会10kmの部で青梅路を快走しました。

レース以外の時間は、市内で陶芸などの制作体験、二中での授業参加、青梅総合高校で和太鼓部の練習を参観するなどして過ごしました。

初めて訪れた日本で、あらゆることに興味を持ち、楽しんで取り組んでいました。



ポストンから青少年ランナー2人が  
青梅路を快走